



登米高通信

宮城県登米高等学校 《基本方針》

- ◇確かな**学力**を身に付け、生徒の志望を**達成**させる
- ◇社会人として**自立**できる**人間**づくり
- ◇生徒 保護者 地域から**信頼**され、**選ばれる**学校づくり



2020年 創立100周年

TOME HIGH SCHOOL

《目指す生徒像》=**将来**にわたって活躍できる**土台**を備え、**地域**を支える人材の**育成**



校訓 誠実 勤勉 進取

平成31年4月号
4月24日発行

ブログ等でも随時情報を発信しております。ホームページもぜひご覧ください。 <https://tome-h.myswan.ed.jp/>

平成31年度 入学式挙行

4月8日(月) PTA 会長秋葉加織様、同窓会長佐々木康明様をはじめ、多数のご来賓のご臨席のもと、第74回入学式が行われました。100名の入学生の名前が、クラス担任から呼ばれたのち、鈴木秀利校長から全員の入学が許可されました。鈴木校長は式辞の中で、「本気」をキーワードにしなが、「主体的に学び続けること」と「志を高く掲げ挑戦し続けること」の2つを常に忘れずに高校生活を送ってほしいと述べました。新入生を代表し1年1組及川大翔君(佐沼中出身)が宣誓を行いました。

〈私たち新入生100名は、宮城県登米高等学校に入学を許可されました。つきましては校規を厳守し、生徒としての本分を守り、文武両道に、切磋琢磨することをここに誓います〉

本校は、来年度創立100周年を控えており、これまでの長い歴史と伝統を背負う厳肅さの中に、これからの希望に満ちた雰囲気の中で入学生100名を迎えました。生徒会役員・野球部・ソフトテニス部による澆刺とした校歌紹介の場面もあり、平成31年度の清々しいスタートとなりました。

入学式で代表宣誓をする及川大翔君



平成31年度新入生歓迎 対面式 & 部活動紹介

4月10日(火)今年度最初の生徒会行事となる対面式・部活動紹介が行われました。吹奏楽部の歓迎演奏にあわせて、旗手の3年小野寺航大君を先頭に、新入生100名が真新しい制服に身を包み入場。生徒会の千葉麻利奈さんが「私たちは新入生のみなさんとともに、登米高校の新しい歴史を創っていききたい」と歓迎の挨拶を述べました。

次に新入生を代表して、1年2組山内葵さん(中田中出身)が、「1日も早く登米高校での学校生活に慣れ、登高生の自覚を持って先輩方の後姿を見ながら、これからの登米高を盛り上げていきたい」と力強く誓いの言葉が述べられました。部活動の紹介に移り、各部が趣向をこらした企画で、部の魅力を発信、入部を訴えるパフォーマンスあり、作成した独自PR動画ありで盛り上りました。

旗手の小野寺航大君に誘導されて入場する新入生たち



《新年度の御挨拶》

登米高等学校長 鈴木 秀利

日頃より、保護者・地域の皆様には本校に對しまして多大な御支援と御協力をたまりに誠にありがとうございます。大正九年四月、地元地域の熱望によって実科高等女学校として誕生した本校は、長い歴史の変遷を経て、昭和二三年男女共学の登米高校となり、二〇二〇年十一月には創立百周年を迎えます。これもひとえに、保護者・地域の方々の変わらぬ温かい御支援のたまものと感謝申し上げます。

さて、学校教育をめぐる環境は大きく変わろうとしています。高等学校でも、今年度から、新学習指導要領に基づく学習活動が開始されます。各授業では、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を目指した工夫、また、「総合的な学習の時間」から「総合的な探求の時間」への移行と、知識・情報を受容するだけでなく、情報活用の方法や発信力を身に付けていく点に重点が置かれます。また部活動においても、「ガイドライン(活動方針)」を定めて、それに則った部運営を行ってまいります。

本校の特色は、保護者と地域の皆様の温かい眼差しによって、生徒が生き生きと自己実現を果たしていくという点にあります。今後も家庭・地域との連携を密にしながら、教職員一丸となって、生徒の思いに寄り添い、一人一人が安心して成長できる、魅力ある学校作りを推進してまいります。今後とも、保護者、地域の皆様の御支援と御協力を、何卒お願い申し上げます。

登米高校へようこそ!

新年度、登米高に着任された11名の先生方です! (敬称略)

職名	氏名	前任校	担当教科等
教頭	鶏徳 雅宏	利府高校	
主幹教諭	阿部 政文	本校(昇任)	商業・ソフトテニス
教諭	三塚 ひろみ	気仙沼高校	国語・陸上競技
教諭	後藤 龍之助	志津川中学校	英語・バスケット
教諭	大竹 史人	気仙沼向洋高校	体育・バスケット
教諭	鈴木 郁恵	新規採用	英語・軽音楽
養護教諭	熊谷 樹梨	本校(育児休業)	茶華道部
事務次長	佐藤 恭央	入谷小学校	
主査	高野 智代	九条小学校	
学校司書	二ノ神 裕子	佐沼高校	
事務補助	小山 奈緒美	新規採用	

登米高生 ボランティアで活躍

【野球部大阪遠征へ】3月23日(土)~3月25日(月)

本校野球部は4回目となる気仙沼高校野球部と合同で大阪府茨木市での親善試合「がんばろう! つばさネットワーク」に招待参加し、様々な交流を深めてきました。被災地東北との野球交流を通じた支援を目指すこの企画を通じて、野球部員は茨木市内の家庭や施設にホームステイをしながら、在阪高校との交流試合の他、少年野球との交流イベントに参加。東北の元氣と登米高野球部を大いにPRしてきました。

【情報文化部】が登米苑を訪問 3月13日(水)



情報文化部ボランティア班の5名が、特別養護老人ホーム「登米苑」を訪問し、交流会を行いました。3年千葉瑞貴さんが絵本「もちもちの木」の読み聞かせに始まり、2年佐々木駿斗君の数え歌「いちじく にんじん」

で入所者約40名の皆さんと楽しく歌を歌いました。最後に、3年川合陽香さん・加美山美憂さんが手作りのお手玉20個とハーバリウム4本を寄贈。特に、お手玉は懐かしく得意な方も多く、大変喜んでいただきました。短い時間でしたが、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

第2回仙台短編文学賞に 卒業生・渡邊ちなみさん入選

3月卒業した渡邊ちなみさんの、登米高3年在学時に初めて執筆した小説「落日と鬼灯(らくじつとほおづき)」(筆名・水無月 恒)が、第2回仙台短編文学賞(審査委員長・直木賞作家熊谷達也氏)の応募総数

324編の中から、「東北学院大学賞(奨励賞)」に見事入選を果たしました。この小説は、主人公の千榛(ちはる)が、生まれ故郷の登米市に十年ぶりに帰省し、祖父母との懐かしい思い出とともに、17年前、佐沼夏祭りで起こった祖父の不慮の死の記憶が、主人公の罪悪感をさいなみ続けながら、現実世界と幻想世界が交差する巧みな構成となっています。同賞は、審査委員長と同学長みすからの推奨による賞。将来性が期待できる若手という点で高い評価を得ての受賞となりました。渡邊さんの小説は、雑誌『震災学』(4月号)に掲載されています。本校図書館でも、閲覧することができますので、皆さんぜひお読みください!



「受賞の言葉」 平成30年度卒業生 渡邊ちなみ
 地元で縁のある名誉ある賞を頂戴することとなり、驚きもありながら大変嬉しく思っています。大学進学で地元を離れますが、最後に故郷への感謝を形にすることができました。今後も今回の経験を生かして頑張りたいです。

2学年 新聞の読み方講座を開催

昨年度末3月15日(金)、河北新報社本社販売局の畠山茂陽様らをお招きし、「ニュースの見方・新聞の読み方」講座を開催しました。日頃スマホのニュースには触れている生徒でも、新聞を手にしてページをめくって記事を読み込むことが少なくなっています。そこで、社会の授業の一環として、2学年全体で新聞記事をどう読んだらいいのかという課題を、実際に新聞を作っている河北新聞社の方から直接教わりました。生徒たち全員に前日の河北新報が手渡され、ゲーム形式で、何面のどこにその記事が載っているのかを当てる早当てクイズが出され、大いに盛り上がりました。

PTA総会・PTA総会報告会 ご参加ありがとうございました

4月20日(土)本校PTA総会が開催されました。授業参観には朝早くから多数の保護者の皆様にご参観いただきました。参観後PTA総会が行われ、174名の会員参加となりました。秋葉会長の挨拶後の協議では、PTA会長には秋葉加織様(東和支部)が再任された他、役員の方々が承認されました。そして特別企画として「吹奏楽部ミニコンサート」。本当に素晴らしい演奏に心なやみました。翌23日(火)午後6時よりPTA総会の報告会が行われ、66名の保護者が参加し、合計240名の参加となり盛況のうちに終了しました。

